



# 2023労働条件闘争 妥結概況(3月23日記者発表用)

## 概況

- 第二のヤマ場を終えた3月23日10時時点で、199 組合 83 万人強の組合員の賃上げが決まった。雇用形態別には、正社員(フルタイム)組合員は 184 組合、短時間(パートタイム)組合員は 113 組合、契約社員組合員は 28 組合が妥結した。
- 正社員組合員、短時間(パートタイム)組合員の妥結ともUAゼンセン結成後の2013年賃闘から前年までの水準を大きく上回る、最も高い賃上げとなっている。要求水準を引き上げ交渉したことが高い妥結水準に結びついている。
- 正社員組合員の妥結総合計(制度昇給、ベア等込)は 13,133 円(4.34%)、賃金引き上げ分(ベア等)は 8,212 円(2.66%)の引き上げとなっており、物価上昇をカバーする賃上げに向けた妥結が継続している。
- 短時間(パートタイム)組合員の妥結総合計(制度昇給、ベア等込)は 61.2 円(5.84%)の引き上げとなっており、第二のヤマ場時点では8年連続で正社員組合員の引き上げを上回り、雇用形態間格差是正の流れが加速している。
- 初任賃金は、高卒(91 組合)で9,036 円(4.9%)・大卒(112 組合)で 12,108 円(5.4%)の引き上げとなり、改定が大きく進んでいる。

## 1. 正社員(フルタイム)組合員の妥結状況

- ① 184 組合の妥結総合計(制度昇給、ベア等込)は、加重平均で 13,133 円(4.34%)であり、前年第二のヤマ場 7,311 円(2.43%、147 組合集計)を大きく上回っている。また、約3割の 56 組合で満額回答となっている。
- ② 賃金体系維持が明確な 124 組合の賃金引き上げ分(ベア等)の加重平均は 8,212 円(2.66%)であり、前年第二のヤマ場 2,420 円(0.79%)を大きく上回っている。
- ③ 規模別では、300 人未満の組合の妥結総合計額・率の加重平均が 13,920 円、4.70%と、300 人以上の組合(13,115 円、4.33%)を上回っており、規模間格差の是正が進んでいる。
- ④ 前年と比較できる 180 組合の妥結総合計(制度昇給、ベア等込)は前年を 6,235 円(2.03%)上回っている。その中でも総合サービス部門が前年を 9,080 円(2.91%)上回っている。
- ⑤ 初任賃金は、高卒(91 組合)で9,036 円(4.9%)・大卒(112 組合)で 12,108 円(5.4%)の引き上げとなっている(前年 53 組合 3,634 円)。初任賃金の改定は妥結組合の約 6 割にのぼり前年の約 3 割(53 組合)を大きく超えている。企業内最低賃金は 91 組合が 8,488 円(4.6%)の引き上げを獲得した。

## 【部門別妥結状況】

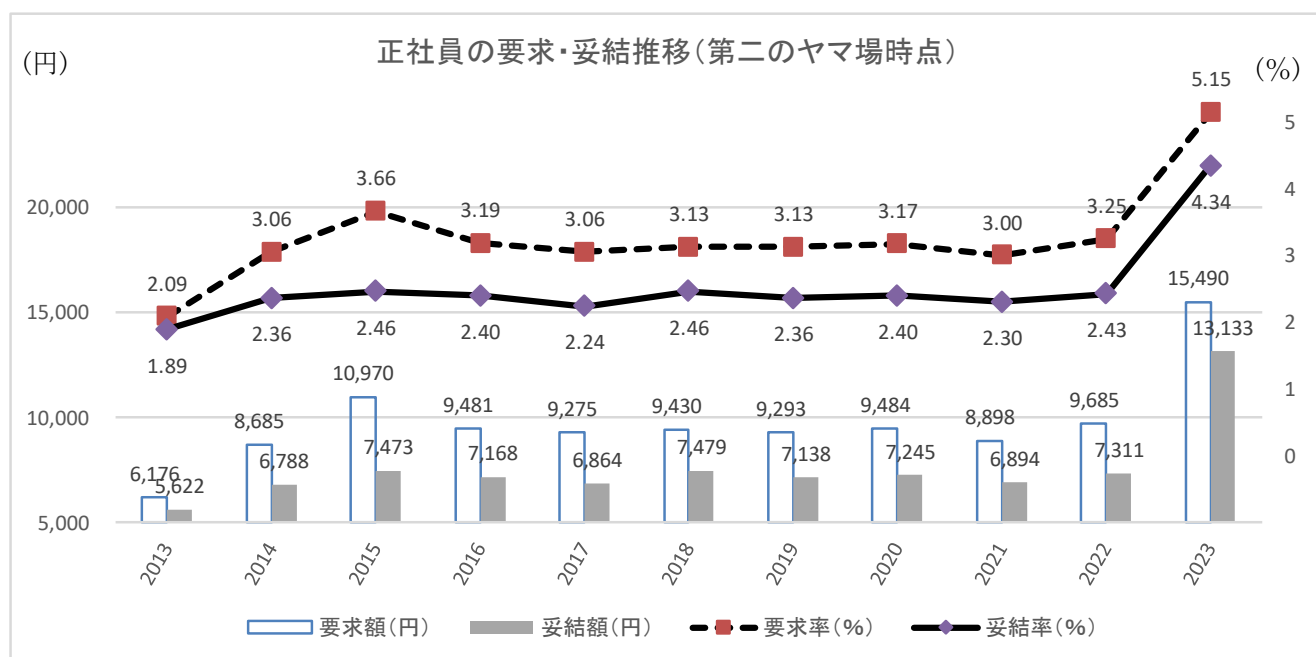
		総合計(制度昇給、ベア等込)引き上げの集計				賃金体系維持が明確な組合の賃金引き上げ分(ベア等)の集計					
		組合数 人数	要求		妥結		組合数 人数	要求		妥結	
			額(円)	率(%)	額(円)	率(%)		額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
単純 平均	全体計	184組合	15,514	5.29	13,079	4.45	124組合	10,416	3.47	8,002	2.67
	製造産業部門	47組合	14,621	4.86	12,690	4.21	41組合	9,247	3.09	7,295	2.45
	流通部門	91組合	15,201	5.36	12,009	4.23	55組合	10,824	3.67	7,706	2.62
	総合サービス部門	46組合	17,044	5.60	15,592	5.13	28組合	11,327	3.65	9,615	3.07
加重 平均	全体計	298,405人	15,490	5.15	13,133	4.34	209,466人	10,349	3.36	8,212	2.66
	製造産業部門	59,556人	15,750	4.87	14,562	4.50	51,356人	9,517	3.01	8,553	2.69
	流通部門	199,452人	15,081	5.16	12,201	4.16	136,185人	10,489	3.46	7,982	2.63
	総合サービス部門	39,397人	17,168	5.51	15,688	5.03	21,925人	11,422	3.60	8,839	2.78

【規模別妥結状況】

		総合計(制度昇給、ベア等込)引き上げの集計					賃金体系維持が明確な組合の賃金引き上げ分(ベア等)の集計				
		組合数 人数	要求		妥結		組合数 人数	要求		妥結	
			額(円)	率(%)	額(円)	率(%)		額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
単純平均	全体計	184組合	15,514	5.29	13,079	4.45	124組合	10,416	3.47	8,002	2.67
	300人以上	142組合	15,321	5.21	12,914	4.38	98組合	10,236	3.42	7,802	2.61
	300人未満	42組合	16,164	5.55	13,636	4.68	26組合	11,093	3.68	8,753	2.89
加重平均	全体計	298,405人	15,490	5.15	13,133	4.34	209,466人	10,349	3.36	8,212	2.66
	300人以上	291,854人	15,471	5.14	13,115	4.33	205,166人	10,332	3.36	8,196	2.66
	300人未満	6,551人	16,363	5.56	13,920	4.70	4,300人	11,143	3.63	8,955	2.92

【部門別前年同組合比較】

		総合計(制度昇給、ベア等込)引き上げの集計					〈内〉賃金引き上げ分が明確にわかる組合の賃金引き上げ分(ベア等)の集計				
		組合数 人数	2023妥結		前年差		組合数 人数	2023妥結		前年差	
			額(円)	率(%)	額(円)	率(%)		額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
単純平均	全体計	180組合	13,123	4.44	6,553	2.18	119組合	7,994	2.63	6,076	1.98
	製造産業部門	45組合	12,715	4.19	5,485	1.80	39組合	7,246	2.42	5,447	1.81
	流通部門	90組合	12,028	4.18	5,924	2.00	54組合	7,776	2.56	5,718	1.85
	総合サービス部門	45組合	15,723	5.19	8,879	2.91	26組合	9,570	3.08	7,764	2.50
加重平均	全体計	294,722人	13,140	4.32	6,235	2.03	203,502人	8,238	2.64	6,115	1.94
	製造産業部門	56,057人	14,681	4.50	6,067	1.87	47,857人	8,512	2.64	6,277	1.94
	流通部門	199,275人	12,203	4.13	5,720	1.90	134,049人	8,046	2.62	5,899	1.90
	総合サービス部門	39,390人	15,689	5.03	9,080	2.91	21,596人	8,818	2.78	7,100	2.24



2. 短時間(パートタイム)組合員の妥結状況

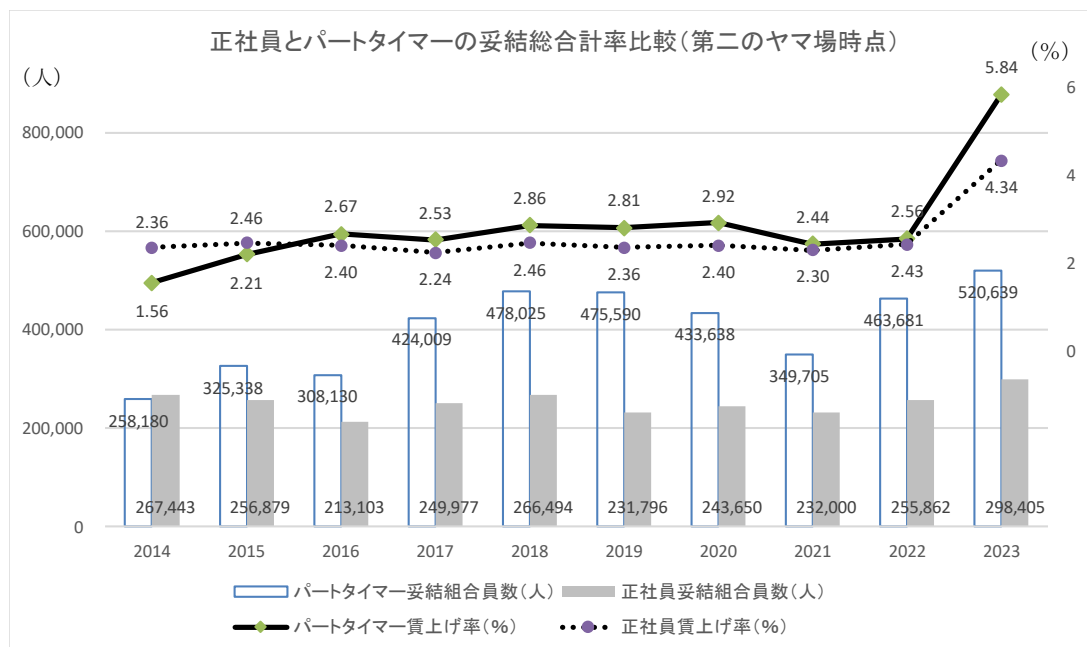
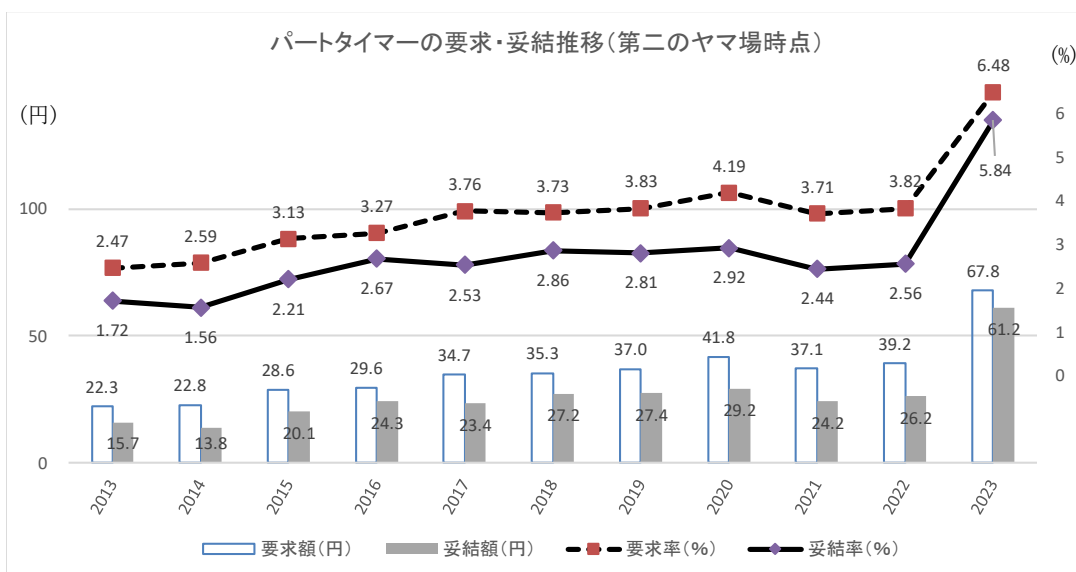
- ① 妥結した113組合の総合計(制度昇給、ベア等込)は加重平均で61.2円(5.84%)の引き上げとなっており、正社員の4.34%を大きく超え、第二のヤマ場時点としては8年連続上回っている。また、4割強の50組合で満額回答となっている。
- ② 前年と比較できる111組合の加重平均額は36.9円(3.50%)の増加となっている。
- ③ 企業内最低賃金は38.7円(4.0%)の増額となっている。改定した組合は妥結組合の約4割(43組合)にのぼり前年の約2割(22組合)を大きく超え、取り組みが進んでいる。

【妥結状況】

	総合計(制度昇給、ベア等込)				
	組合数 人数	2023要求		2023妥結	
		額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
単純平均	113組合	68.1	6.28	58.9	5.41
加重平均	520,639人	67.8	6.48	61.2	5.84

【前年同組合比較】

	総合計(制度昇給、ベア等込)				
	組合数 人数	2023妥結		妥結同組合前年比	
		額(円)	率(%)	額(円)	率(%)
単純平均	111組合	58.9	5.40	33.0	3.01
加重平均	505,382人	60.6	5.81	36.9	3.50



3. 契約社員組合員の妥結状況

- ① 妥結した28組合の総合計(制度昇給、ベア等込)は加重平均で9,970円(4.41%)の引き上げとなっており、正社員の4.34%を上回っている。
- ② 前年と比較できる27組合の加重平均は前年を5,202円(2.31%)上回る。

以上  
【お問合せ】  
企画局・鈴木  
(03-3288-3520)